

令和7年度 事業報告

河川ポンプ等の内水排除施設は、人々の生命や財産を浸水被害から守るための重要な河川管理施設であり、近年、激甚化・頻発化する水害の発生を受け、その重要性はますます高まっている。

一方、それらの施設の中核をなす河川ポンプ施設はその多くが老朽化しており、厳しい財政状況下にあっても適切な維持管理や更新の実施が求められている。また、内水排除事業を担う施設管理者や関係民間企業においては、技術者や操作員の高齢化や不足、人材確保の困難さが深刻化しており、事業体制の弱体化が懸念されている。

これらの課題に対し、令和4年7月に社会資本整備審議会より答申された「河川機械設備のあり方について」では、「システム全体の信頼性の確保」、「担い手不足等に対応した遠隔化・自動化・集中管理への移行」、「技術力の維持向上」に向けた設備のあり方について提言がなされた。また、令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」においても、排水機場等の遠隔操作化の整備が推進施策のひとつとして位置付けられている。

こうした状況の下、国土交通省では現在、マスプロダクツ型排水ポンプの技術開発、施設の老朽化に伴う故障リスクに対応するための診断を基本とするメンテナンスサイクルの確立、排水機場における遠隔操作の試行、AIを活用した異常検知システムの研究・開発等の取組を進めている。

令和7年度事業はこれらを踏まえ、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や老朽化施設への対策、河川ポンプ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた取組など、技術の向上、人材育成及び現場・関係者への支援に向けた活動を行った。具体的には、河川ポンプ施設技術の調査研究及び普及、技術者の養成、広報活動等を柱として、以下のとおり事業を実施した。

なお、令和7年3月31日に完了した公益目的支出計画については、令和7年7月22日付で内閣総理大臣により実施完了が確認された。

1. 総会・理事会

1. 1 総会

令和7年5月26日 令和7年度の定時総会を開催し、次の議案について審議、承認した。

議案	第1号議案	令和6年度事業報告の件
	第2号議案	令和6年度決算報告の件
	第3号議案	役員選任の件
	第4号議案	定款改定の件
	第5号議案	入会金及び会費規程改定の件
報告	公益目的支出計画実施報告書の報告	
	ポンプ施設管理技術者資格試験規則の改定の報告	

1. 2 理事会

令和7年5月8日 第1回理事会を開催し、次の議案について審議、承認等をした。

令和6年度事業報告について審議承認した。
令和6年度決算報告について審議承認した。
役員選任について審議承認した。

令和7年度定時総会の招集方法について審議決定した。
令和7年度運営委員7名を選任した。

令和7年5月26日 総会終了後、第2回理事会を開催し、業務執行理事を選任（補任）した。

令和7年12月1日 第3回理事会を開催し、次の議案について、審議し承認した。

令和7年度上半期事業及び予算執行について審議した。
令和8年度事業計画及び予算について審議決定した。
令和8年度委員会の設置について審議決定した。
令和8年度定時総会の日程について決定した。
新規会員の入会について審議決定した。

令和8年2月16日 書面決議を行い、新規会員の入会について決定した。

2. 運営委員会

令和7年4月22日、7月2日、9月26日及び11月20日、令和8年2月2日に委員会を開催し、下記の企画・立案、審議等を行った。（令和8年2月2日は書面開催）

(1) 理事会に提出する議案の企画・立案

協会運営の基本的事項の審議及び令和7年度の理事会に提出する案件の企画・立案した。

(2) ポンプ施設管理技術者の資格制度の改善等の審議

令和7年度以降のポンプ施設管理技術者に関する講習と試験の実施状況と計画について報告した。

(3) 海外調査の実施

イタリアのポー川流域のポンプ施設やモーゼ（MOSE）（ヴェネチアとその潟を高潮から防護する可動式防潮施設）等について、10月27日から30日に現地調査をした。

(4) その他協会運営に関する事項

①災害への対応

東北、関東、北陸、中部、近畿、中国の各地方整備局及び北海道開発局と災害協定を締結しており、協定に基づき各地区の関係会員による実施体制を提出した。

7月23日に近畿地方整備局近畿技術事務所で開催された災害対策用機械の現場対応訓練に参加した。

②意見交換会等の実施

河川ポンプ施設に関して、河川ポンプ施設に関する事業の継続に向けた市場確保や公共調達の改善等について、国土交通省との意見交換を行った。

令和7年11月26日 四国地方整備局
令和7年12月 5日 中国地方整備局
令和7年12月 9日 近畿地方整備局
令和7年12月12日 東北地方整備局
令和7年12月16日 国土交通省本省
令和7年12月24日 中部地方整備局
令和8年 1月27日 北海道開発局

令和8年 2月16日 九州地方整備局

令和8年 2月19日 関東地方整備局

③協会事業の展開に関する審議

操作技術向上検討会の実施方法について審議し、今後も無償で実施することを確認するとともに、動画を活用した広報展開について検討した。

3. 委員会

3. 1 広報研修委員会

(1) 機関誌「ぼんぷ」の発行

機関誌「ぼんぷ」の第74号を9月に、第75号を3月にそれぞれ2,000部を発行し、国土交通省、地方公共団体、関係法人、会員等に配布した。

第74号では、「庄司川総合内水対策計画」における浸水被害軽減対策についてや「精密診断マニュアル(案)の策定にかかる有用性の検証について」などの技術報文、工事施工レポート、機場めぐり等の記事を掲載した。

第75号では、技術報文として当協会の技術開発委員長による「河川排水ポンプ設備 技術開発の歴史(1)」(本報文は今号を含め4回の連載を予定)、令和7年度の技術講話会の報告、工事施工レポート、機場めぐり等の記事を掲載した。

(2) ホームページの拡充

関係者や一般市民からみて使いやすいホームページとするためのデザインの更新と動画の活用について検討した。

(3) 技術図書の発行

「ポンプ施設の建設と管理」の改訂準備を行った。

(4) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力

国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修へ講師を派遣した。

令和7年 7月15日 北陸地方整備局

令和7年10月17日 兵庫県

令和7年11月12日 国土交通大学校

令和7年11月28日 東北地方整備局

令和7年12月3～4日 国土交通大学校

(5) ポンプ施設技術講習会の実施

9月に東京、大阪、福岡の全国3会場でポンプ施設技術講習会を実施した。

[本講習会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録]

受講者数 81名

(6) 技術研修会等の実施

①技術研修会

会員の技術力研さんを目指す技術研修会として、荒川調節池工事事務所の先進的な建設DXの取り組み現場を視察した。なお、本研修の実施概要を、機関誌「ぼんぷ」75号に掲載した。

[本研修会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録]

令和7年10月22日

参加者 26名

②技術講話会

外部講師による「土木機械設備の技術動向」及び「マスプロダクツ型排水ポンプ

設備の現状と課題」について講話をいただいた。

〔本講話会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

令和7年11月13日

参加者数 49名

3. 2 技術開発委員会

令和7年10月22日、11月20日、令和8年1月30日に委員会を開催し活動を行った。

(1) 新しい技術の開発・導入に関する検討

「これからの河川ポンプ施設の駆動機のあり方」をテーマに意見交換を行うとともに、カーボンニュートラルに向けた駆動機検討WGを開催し、今後の技術開発の方向性について検討した。また、マsproダクツ検討WGを開催し、国土交通省で検討されているマsproダクツ型排水ポンプ設備技術指針の策定に関する意見照会に対応した。

(2) 河川ポンプ分野のDX推進に資する調査、研究開発

国土交通省の「BIM/CIM推進委員会」「3次元モデルと2次元図面の整合確認PT」「CAD製図基準PT」の審議内容を共有するとともに、「設計段階における3次元モデルと2次元図面の整合確認方法（案）」策定及び「CAD製図基準」改定に関する意見照会に対応した。

(3) 河川ポンプ施設に関するニーズに関する調査、課題解決に向けての検討

河川ポンプ施設の現場のニーズに関する調査並びに諸課題解決に向けて、検討、意見交換の準備を行った。

3. 3 維持管理委員会

令和7年7月2日、令和8年1月26日、3月23日に委員会を開催し活動を行った。

(1) 操作技術向上検討会等の実施

排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会を行った。

令和7年12月18日 九州地方整備局管内 牛津江排水機場

(2) ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討

「遠隔化されたポンプ設備の点検等のあり方」を検討テーマとし、遠隔操作時における運転時点検に関する検討を行った。また、令和6年度に作成した安全管理に関する事例集を国土交通省地方整備局に配布した。

(3) 河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討

河川ポンプ施設総覧の電子化を見据えたデータ整理を行った。また、データを基に河川ポンプ施設の現況について整理し、国土交通省との意見交換の資料の一部とした。

4. ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

(1) 令和7年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施

令和7年10月26日（日）、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国5会場でポンプ施設管理技術者資格試験を実施した。

受験者数 160名（1級68名、2級92名）

合格者数 102名（1級39名、2級63名）

(2) 令和7年度ポンプ施設管理技術者講習の実施

講習資料として「2025ポンプ施設管理技術者講習テキスト」を作成した。

令和7年5月に札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の全国9会場でポンプ施設管理技術者講習を実施した。

〔本講習は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

受講者数 641名

(3) ポンプ施設管理技術者に関する広報

機関誌「ぼんぷ」およびホームページにおいて、ポンプ施設管理技術者制度の広報を行った。

(4) 試験審査関係委員会

①試験委員会

令和7年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を行った。

②審査委員会

令和7年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行った。

5. 受託業務

内水排除施設の建設技術、管理技術に関する調査研究及び開発、並びにその技術的基準の作成及び普及に関する業務について、国土交通省等から8件を受託し実施した。